



第2次大崎町総合計画（案） を町長に答申

平成23年度から32年度までを計画期間とする「第2次大崎町総合計画」の策定に向けて、「大崎町総合計画審議会」は数回の審議を重ね、平成23年5月27日（金）に、まちづくりの考え方を示す「第2次大崎町総合計画（案）」について、東靖弘町長へ答申を行いました。

審議会の中倉和人会長は、「恵まれた自然環境や文化・歴史・産業基盤等を生かした特色あるまちづくりを進めるとともに、町民や地域の力を生かしながら、持続可能な新たなまちづくりに取り組んでください。」と述べました。

これを受け、東靖弘町長は、「まちづくりの主役は町民。自主自立のまちづくりをめざし、安心して暮らせるまちを作っていきたい。」と答えました。



△▽大崎町総合計画審議会員（順不同敬称略）

小園孝一 小野光夫 長重充輝 吉原信雄 上村清志
濱松賀年 江藤純一 岩室道人 前田住男 川崎美喜
遠矢文雄 入木辰雄 市坪新悟 川畑紘一 小野千洋
山田義明 大河内泰子 弓削一弘 上中誠 中倉和人



車椅子を寄贈！ 鹿児島県建築協会

社団法人鹿児島県建築協会員が、5月17日（火）役場を訪れ、車椅子を寄贈しました。

同協会（会員数193社：うち本町3社）が、今年の8月で50周年を迎えることから、地域への感謝として県下一円に車椅子を贈ったものです。

同日、贈呈に訪れた久徳博文曾於支部長は、「福祉のために役立ててください」とあいさつ、町長が「車椅子は利用頻度が高いため、ありがたい。大切に利用させていただきます。」と感謝を述べました。



▲曾於支部会員4名が役場を訪れ、車椅子を寄贈していただきました。



地域で守ろう！ 有害図書自販機付近の浄化作業

5月16日（日）、野方校区内にある有害図書無人自動販売機周辺的环境浄化活動が行われました。

販売機の設置場所が、木々などに囲まれ、死角となっていたことから、野方小、大崎第一中学校PTAが中心となり、草木の伐採作業を行いました。

参加者は、今後も定期的の実施するとして「子どもたちを有害図書から守ろう」と誓いました。



▲伐採作業を行った野方小、大崎第一中学校PTAのみなさん。